

○ 農作物及び土壌中のカドミウムに係るリスク管理について

- 米については、現行のカドミウム成分規格の1.0mg/kg以上（改正後は0.4mg/kgを超えて）含有するものについて、流通段階での監視指導により、農作物中のカドミウムのリスク管理が行われている。
- また、農作物のカドミウム低減対策として、産地段階での自主的な調査や、湛水管理をはじめとする吸収抑制対策等の取組も行われている。
- 農用地の土壌については、常時監視により汚染実態を把握し、指定要件に該当する農用地について、汚染の除去等の措置を行うことで、土壌中のカドミウムのリスク管理が行われている。

